

1つ目は、「才能には 二種類ある」という話

○ 写真を見せて 紹介する ○ MLB の野球殿堂入りの話

○ その時の記者会見で話した『才能を活かす才能がある』という話

・『才能を活かす力』 は 『努力できる力』

・『才能を活かすも 殺すも自分次第』 『自分を知ることが大切だ』

と話しています。

実際のインタビューでは、若い選手へのアドバイスとしてこう話しています。

「僕が18歳でプロ野球選手になった時に、まず、メジャーリーグでプレーするなんてことは、想像すらできませんでした。日本でプレーしていくうちに、アメリカでプレーしたい という気持ちが芽生えてくる。

段階を経て進んできた という感触がある。アメリカに来てからも 何年プレーできるか全くわかりませんでした。それが最終的には、(現役を引退する)19年まで続き、今日に至る。

才能あふれる人たちはたくさんいます。僕の比較にならないくらい 才能にあふれた人は一杯います。それを活かすも殺すも 自分自身だということ。自分の能力を活かす能力が また別にある ということを知っておいてほしい。才能があるのに なかなか活かさない という人は一杯います。ケガに苦しむ人もいます。自分をどれだけ知っているかは

結果に大きく影響している ということを知っておいてマイナスはない。」

○イチローさんを引き合いに出したので、そもそも運動神経や身体能力が高い人たちだけの話みたいに聞こえてしまうかもしれませんが、私が伝えたいことは、そういうことではありません。

運動部とか文化部とか そんな括りではなく 考えてみてください。

2つ目は、「失敗には 種類がある」です。

一番愚かだと思うのは、「失敗したくないから 何もしない」

次に愚かなのは、準備不足が原因で

言い換えると 大して努力もしないで 簡単に失敗すること です。

こういう人は、同じような失敗を 何度となく繰り返します。

「危険を回避する」場合には、時には 「何もしない」もあります。

でも、ここで言う「失敗したくないから 何もしない」とは違います。

では、 一生懸命努力していれば、失敗していいのか。

考えてみてください。

3つ目は、「決意」と「決断」は違う　です。

(ラミネートを見せて、少し考えさせる　どちらの方が大事・重い?)

「決意」というのは、『何かをしようとする　強い意志や覚悟』のことで、何かを成し遂げるために、自分自身が「心」の中で決めること。です。

「決断」は、『実際に、選択を行う　行為やその結果』のことで、複数の選択肢の中から、一つを選ぶことや　行動のこと　を言います。

どうですか？　どちらも大切なのですが、　何を言いたいのかというと、

「決断」は、　右か左。　上か下か。　やるかやらないか。

といった、　一瞬の判断のもとで起こす　行動のこと　なんです、

「決意」は、「決断」が迫られる　一瞬の判断や行動を　謝らないように

「こうなったら、こうしよう」　「これを準備しておかなくちゃ」　とか

「この時には、この方法の方がいい」と、　常日頃から考えに考えて、

「心」を決めておく　意思決定しておく　ということです。

成功する人、 成し遂げることが出来る人に 共通していることは、

大事な「決断」を迫られる前に、 というよりも 実はもっとずっと前から

日常的に、『 大事な判断 イコール 決断 』を 間違えないように、

何を どの順序で どのくらいの強弱で

どんなタイミングでやるのがいいか そういうシミュレーションを

頭の中で相当やり尽くして、

『こうしよう』 という意思決定 「決意」 を固めています。

どうですか？ みなさんは、 いつもどんな 「決断」 をしていますか？

そして、結果は いつも どんな感じになっていますか？

今日お話しした3つの話は、 言い回しは違いますが、 重なる部分や

共通しているところがある 、と 感じ取れたはずですよ。

3年生は、これから一日一日が、 色々な大一番に繋がっていきます。

2年生は、そうした先輩の後姿を追いながら、 もうすぐ学校の中心、

主人公になります。 後輩もできます。

生きていく上で、『失敗のない人生』はありません。

誰しも、大なり小なりの失敗をするものです。

そして、誰にでも、その人にとって大事な 勝負する場面がやってきます。

勝負は一瞬です。 その一瞬の「決断」よりも、 どうか その前までの「決意」を固めるまでの時間。 そして、懸命に取り組んだ上で起こった失敗を、そのまま放置せずに、

そこから自分を修正する、 成長させる、 進化させる、

そうした取り組みをしてください。 そう、し続けてください。

高校三年間は、長いようで「あっ」という間に過ぎていきます。

どんな結果や成果が出たのかではなく、

西高で過ごす三年間の一瞬一瞬が、

どのくらい密度の濃いものにできたのか、 だと思えます。

インターハイや甲子園予選、様々なコンクールで 満足がいく結果が得られる場合ばかりではありません。 ほとんどの人が思うようになりません。

もしかしたら、西高にいる三年間で、一度も陽の目を浴びなかった、
ということになるかもしれません。

きっと、その人は人知れず「もがいて」「苦しい」時間を過ごすことになる
かもしれない。

周りの人からしたら、理解しにくいかもしれないけれど、それはそれでい
いんじゃないかと、私は思います。

大切にしてほしいことは、目に見える 結果や成果だけではなく、
どんな思いで、その時を過ごしたかです。

どれだけ真剣に、西高で過ごしたかです。

10年後、20年後のみなさんが、母校清水西高校を振り返る時に、
懐かしく思ったり、誇らしく思ってもらいたい。 そう思います。

一人一人が自分の人生の主人公です。

令和7年度が、清水西高校にとって、『幸福』と『希望』に満ち溢れていく
ように、私も含めて、西高にいる先生方で、全力でみなさんの高校生活を
支えていきます。 共に頑張りましょう。

令和7年度第一学期 始業式校長式辞とします。